

有明海漁業実態調査

ウミタケ資源量調査

川名 拓里・神崎 博幸

ウミタケは、佐賀県において重要な水産資源であることから、資源量を把握するため、生息状況調査を行ったので概要を報告する。なお、一部の調査については有明海漁業実態調査で実施した。

たりの生息個数を推定した。なお、潜水士による1分間の探索面積は5m²とした。

結果

方法

調査は、2025年4月8日および11日に、早津江川河口沖合に造成した漁場（20×60m、浚渫工区および盛土工区）およびその周辺（佐賀市が実施した作滞地点および盛土地点含む）、白石町沖合で過去に浚渫土を盛土して造成された漁場など計15地点でそれぞれ実施した（図1）。

ウミタケの生息は、15地点中8地点で確認された（表1）。中でも、早津江川河口沖合の漁場造成（浚渫および盛土）を実施した地点（地点A, B）や操業実績地点（地点D, E）で1個/m²以上の生息を確認した。2024年に造成した地点F, Gでも生息が確認された。発見個体は当歳貝のみであり、1歳貝の生息は確認されなかった。その後、2025年6月に漁法、期間および隻数を限定して、試験操業が行われた。

それぞれの地点では、潜水士が5分間潜水し、目視により生息個数を計数し、その結果を基に1平方メートル当

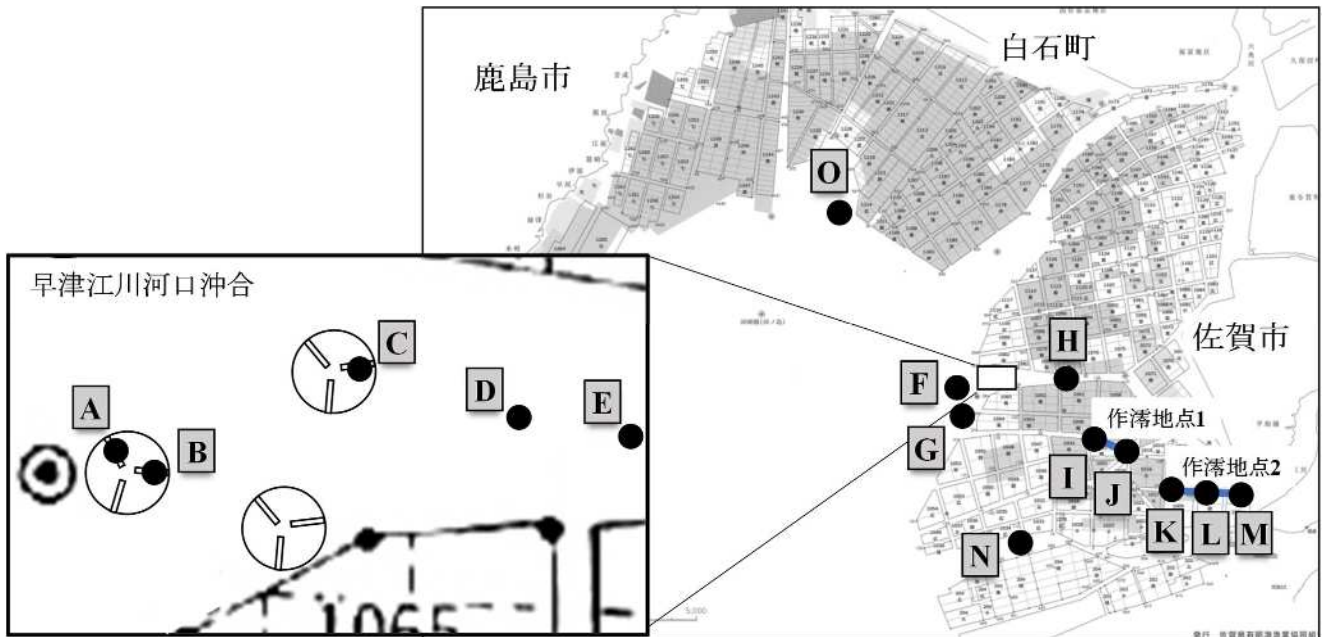


図1 調査地点

表1 各調査地点の発見個数および生息密度

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
発見個数(個)	50	46	7	35	59	1	20	0	0	0	0	0	0	1	0
生息密度(個/m ²)	2.0	1.8	0.3	1.4	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
備考	盛土	盛土	浚渫			浚渫	盛土		作滞	作滞	作滞	作滞	作滞		盛土